

## 8

## 骨粗しょう症検診

## 1 概 要

## 1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨を測定した。

## 2] 判定基準

	異常認めず	要指導	要精検
同一年齢平均骨量	90%以上	80%～89%	80%未満

## 2 実施状況

表1 判定別実施状況

		受診者数	異常なし (%)	要指導 (%)	要精検 (%)
中学1年生	男	37	31 (83.8)	6 (16.2)	0 (0.0)
	女	45	43 (95.6)	2 (4.4)	0 (0.0)
	計	82	74 (90.2)	8 (9.8)	0 (0.0)
中学3年生	男	45	38 (84.4)	5 (11.1)	2 (4.4)
	女	40	37 (92.5)	3 (7.5)	0 (0.0)
	計	85	75 (88.2)	8 (9.4)	2 (2.4)
総 数	男	82	69 (84.1)	11 (13.4)	2 (2.4)
	女	85	80 (94.1)	5 (5.9)	0 (0.0)
	計	167	149 (89.2)	16 (9.6)	2 (1.2)